


**Jet Press 540WV 主な仕様**

用途	軟包装用 <sup>*1</sup>
乾燥方式	LED-UV硬化
印刷スピード	50m/分
印刷方式	シングルパス 低臭気UVインクによるドロップオンデマンド
解像度	600dpi×600dpi
基材種類	PET、OPP、NY (12μm~100μm) <sup>*2</sup>
最大基材幅	580mm
最小基材幅	300mm
基材 最大重量および最大直径	200kg、600mm
最大印刷幅	541mm
インク	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ホワイト
電源	3相・200V (50/60Hz)
環境条件	温度20~26℃、湿度30~60%
排気	コロナ排気ブロー
対応データフォーマット	Tiff、EPS、PDF
標準付属設備	窒素発生器
設置面積	基材搬送方向15,500mm×基材幅方向6,796mm(作業スペース含む)

※1 裏刷りの場合、要ラミネート加工 ※2 使用基材については事前テストを推奨します

**UV Inkjet×EUCON Technology**

このイノベーションが、  
軟包装の未来を拓く。



軟包装用UVインクジェットデジタルプレス

# Jet Press 540WV

Powered by FUJIFILM EUCON Inkjet Technology



本システムで使用する  
UVインク「Uvijet MK」は  
NL規格に準拠しています。

※記載の商品名および社名は、各社の登録商標または商標です。

**FUJIFILM**

●本製品についてのお問い合わせは  
富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社  
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル  
TEL: 03(6419)0300

ホームページ <https://www.fujifilm.com/ffgs/ja>

# ショートランも、バリエブルも、エンドレスも。 軟包装印刷は、インクジェットの変革力で、 もっと自由になる。

軟包装分野で急速に進む小ロット・多品種化、そして短納期化。加えて、とくに食品パッケージなどでますます強く求められる、高い品質と安全性の両立。こうしたシビアな市場要求を満たし、より戦略的なパッケージ印刷ビジネスを可能にするために、『Jet Press 540WV』は誕生しました。最新LED-UVインクジェットプリンターと、富士フイルムが独自に開発した「高感度UVインク」「下塗り技術」「窒素パーージ技術」の組み合わせにより、軟包装印刷用途で課題となっていた「臭気」や「インクの滲み」を大幅に低減。もちろん、小ロット対応はお手のもの。約4,000m以下の領域で真価を発揮します。さらに、バリエブル印刷、長尺印刷、エンドレス印刷などを駆使した、より多彩な商材提案、攻めの営業展開も可能に。先進のインクジェット技術が、軟包装印刷ビジネスに、新たな変革をもたらします。

<b>高画質</b>	軟包装用のフィルム素材でも、豊かなハイライト描写性、滲みのない高品位な再現を実現。
<b>高生産性</b>	高感度UVインクの採用により、「60m/分」の高生産性を達成。
<b>低臭気</b>	独自の窒素パーージ技術により、UVインクジェットインク特有の臭気を低減。
<b>多用途性</b>	インクの優れた基材密着性により、幅広い用途に対応。バリエブルによる付加価値アップも実現。
<b>VOCフリー</b>	VOCフリーのUVインクの採用により、優れた環境性を実現。



## UV Inkjet × EUCON Technology

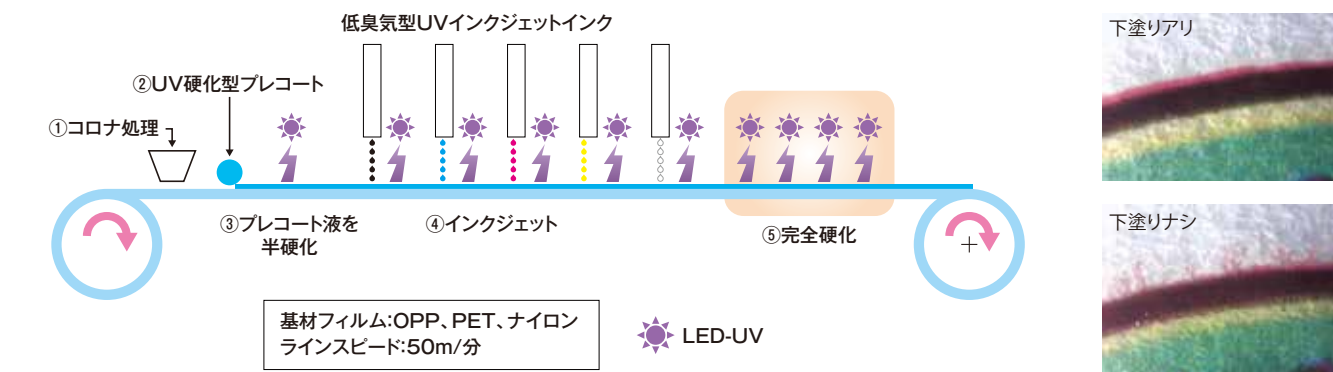
# 実績あるLED-UVインクジェット印刷機に、 富士フイルム独自の『EUCON Technology』※を融合。 軟包装印刷の可能性を大きく広げる新戦力の誕生です。

※ EUCON:Enhanced Under Coating & Nitrogen purging

## 高画質

### にじみの発生を抑える「下塗り技術」《EUCON Technology》

UVインクは、紫外線照射によって優れた速乾性を発揮しますが、プラスチックやフィルムなどのインクを吸収しない基材上では、インク量が多いと滲みが発生しやすくなります。そこで富士フイルムは、インク滴を着弾位置に確実に保持するUV硬化型プレコート液を新たに開発。下塗りしたプレコート液を半硬化させ、その上からCMYKWのジェットングを行なうことにより、インクが確実に定着し、鮮明な画像再現が得られます。



### 高濃度インクによる鮮やかな発色

高感度、高濃度、そして高い安全性を特長とする、富士フイルム独自開発のUVインク『Uvijet』を採用。高濃度インクならではの鮮やかで美しい発色が得られ、パッケージの意匠性向上に大きく貢献します。また、軟包装では欠かせない「白インクの隠ぺい性」にも優れています。

### 滑らかな階調再現

濃度に応じてドットサイズを4段階で使い分けることにより、豊かで滑らかな階調再現が得られます。

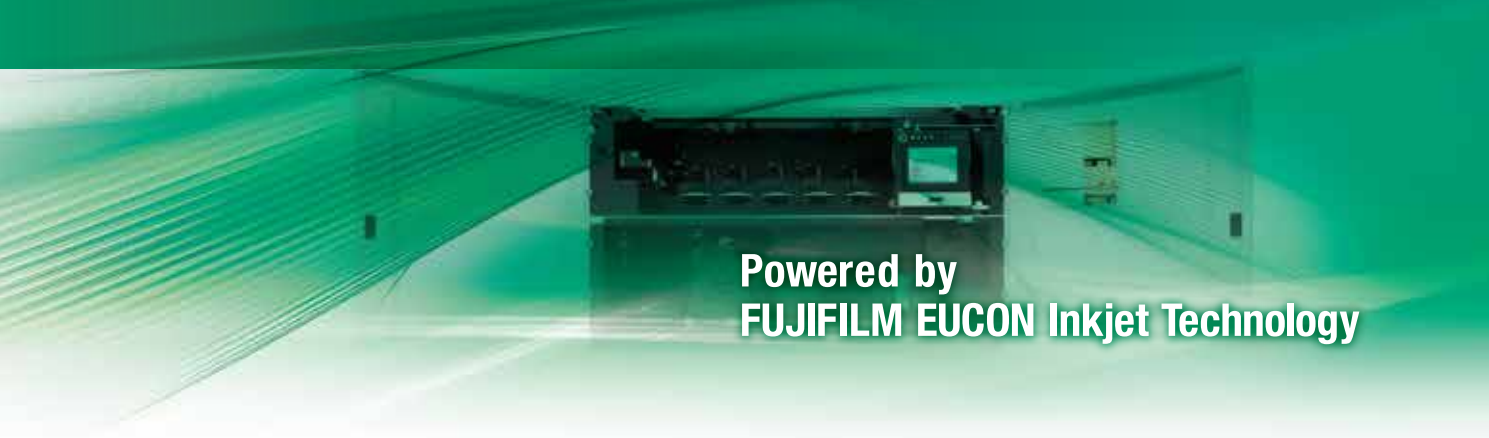
## 高生産性

### LED-UV装置+高感度UVインク

省エネルギーでインクの速乾を実現する「LED-UV装置+高感度UVインク」の組み合わせにより、基材の種類に左右されず高い生産性を発揮。LED-UV装置は発熱量も少ないため、フィルムなどの基材に対する熱影響も抑えられます。

### 50m/分の安定した高速出力

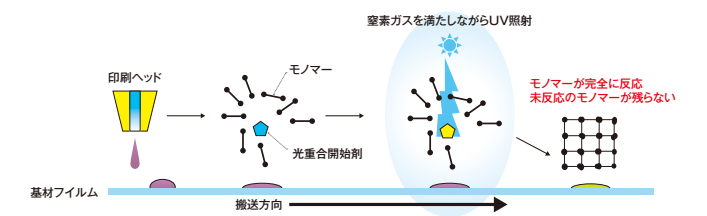
新設計の用紙搬送システムにより、多種多様な基材に対し、高精度で安定した出力が可能。CMYKWの5色で50m/分の出力スピードを実現しています。



## 低臭気

### UVインク臭を抑える「窒素パーージ技術」《EUCON Technology》

UVインクは、紫外線を照射すると、インク中に含まれるモノマーが高分子化することで瞬間硬化しますが、通常の紫外線照射では、空気中の酸素が重合反応を阻害するため、ごく微量のモノマーが反応しないまま残ってしまい、これが臭気の原因になります。そこで、『Jet Press 540WV』では、高速搬送されるメディアの表面を瞬時に窒素ガスで満たし、酸素を完全に遮断する「窒素パーージ技術」を搭載。残存モノマーによる臭気の発生が大幅に抑えられ、食品包装の用途でも安心して活用いただくことが可能になりました。



## 多用途性

### バリエブル印刷<sup>※1</sup>による付加価値アップ

バリエブル印刷の活用により、「1部ずつ異なる名前やメッセージを印刷したパッケージ」など、より独創的な商品提案が可能になります。



### 幅広い基材への印刷・加工適性

多様なフィルム素材に出力でき、厚みも12μm~100μmまで対応。さらに、オプションで豊富な後加工装置を用意しており、用途に応じて最適なシステム構成が選択できます。(新規の基材をご使用の場合は、事前の印刷テストをお勧めいたします。)



### 優れた耐熱性

フィルム基材に対して優れた密着性を発揮。印刷面を加熱するヒートシール加工にも対応できます。

### 食品包装にも対応

システム全体で安全性にも配慮<sup>※2</sup>。非食品向けはもちろん、食品向けも含め、さまざまな軟包装に活用できます。

※1 オプション  
※2 「厚生省告示第370号」の適合事例を確認済

## VOCフリー

### 作業環境改善に貢献

UVインクは有機溶剤を含有していないため、有機溶剤系インキを使用する印刷方式に比べ、工場内の印刷作業環境の改善が図れます。

### 周辺環境への影響も低減

VOC排出量や浄化処理量を大幅に抑えられます。